

中央公民館・勤青ホームだより

令和3年9月1日発行



長瀬町中央公民館・長瀬町勤労青少年ホーム

9月号

長瀬町大字野上下郷 3312 TEL:66-1800 FAX:66-1564 Email:koumin-k@town.nagatoro.saitama.jp



参加者募集中

団体名: バレークラブ ながとろ

活動日: 毎週木曜日と第4土曜日 午後7時00分から午後9時00分まで

連絡先: 大沢久江 ☎66-2471

会費: なし

その他: 男性女性混合で練習をしています。バレーボール経験者の方ももちろんのこと初心者の方も大歓迎です。一緒に汗を流してみませんか?参加をお待ちしています。

- 募集受付は9月2日（木）からです。ご来館、電話、FAX、Eメールなどにより、お申込みください。なお、絵手紙で手づくり年賀状・ジャズダンス教室は、窓口のみでの申込み受付となります。受付時間は、午前9時00分から午後8時00分までです。いずれの教室・講座も新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインを守りながら実施します。また、感染状況によっては、中止または日程や内容を変更する場合がありますのでご了承ください。

渋沢栄一翁の足跡(書)と彼岸花の名所を巡る

時の人『渋沢栄一翁』の今を逃さずその功績や足跡をたどりながら、
長瀬地内の「彼岸花」の名所を巡ります。

期 日 9月27日（月曜日） 午前9時00分から正午まで
 集合解散 長瀬町郷土資料館 駐車場 午前9時00分集合 ☎66-0297
 講 師 長瀬町教育委員会 小澤 守 さん
 行 程 郷土資料館（9：00）→有隣倶楽部（9：10）★→宝登山神社（9：30）★→
 不動寺◎→荒神堂◎→秩父鉄道沿線の土手◎→首都圏歩道（養浩亭下）◎→
 養浩亭（11：00）★→長生館（11：30）★→長瀬駅★→
 郷土資料館（12：00）

★：渋沢栄一翁の「書」や「額」を見学 ◎：彼岸花を見学

定 員 20名

参加費 無 料

そ の 他 ・荒天を除いては実施します。
 ・移動は歩きとなるため、動きやすい服装や靴などでご参加ください。また、雨具や水分などは各自でご用意ください。



絵手紙で手づくり年賀状

新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、帰省や外出を控え親戚縁者や友人などと会う機会が少なくなったそんな時期だからこそ、年始の挨拶は絵手紙の手づくりの年賀状で、皆さんの安心安全の思いを届けてみてはいかがでしょうか。

期 日 10月 5日（火曜日）、10月12日（火曜日）、10月19日（火曜日）、
10月26日（火曜日）

時 間 午後7時00分から午後9時00分まで

場 所 コミュニティ集会室

講 師 布施幸男 さん

定 員 15名

参加費 500円 材料代1,000円（筆ペン、練習用のはがき代）

その他 用具は、絵具・筆・パレット・筆洗・布（ハンカチ程度）・鉛筆（B）・消しゴム（用具類は子どもさんが学校などで使用していたもので可。）をご持参ください。



今月のカレンダー

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
曜日	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
内 容	防災の日	絵画(水彩)教室							救急の日							絵画(水彩)教室

ながとろの城跡めぐり講座

町内に残る「城跡」や付近に点在する文化財を見学し、文化財への理解を深めるものです。

期 日 ①10月15日(金曜日) 鉢形城公園・鉢形城歴史館
 ②11月15日(月曜日) 虎ヶ岡城跡
 ③12月 6日(月曜日) 仲山城跡

時 間 午前9時00分から正午まで

集 合 ①秩父鉄道「寄居駅」 南口出口付近 9時00分集合
 ②矢那瀬・八幡神社(矢那瀬下郷区集会所) 9時00分集合
 ③樋口地区コミュニティ集会所 9時00分集合

解 散 ②矢那瀬・八幡神社(矢那瀬下郷区集会所) 9時00分集合
 ③樋口地区コミュニティ集会所 9時00分集合

講 師 長瀬町教育委員会 小澤 守 さん

定 員 20名

参加費 無 料



見学地	鉢形城公園・鉢形城歴史館	虎ヶ岡城跡	仲山城跡
行程	集合：秩父鉄道「寄居駅」 南口出口付近(9:00) ↓ 鉢形城復元地形模型(9:15) ↓ 鉢形城公園めぐり(9:20) ↓ 鉢形城歴史館(10:40~11:30) ↓ 鉢形城公園めぐり(11:30) ↓ 解散：秩父鉄道「寄居駅」 南口出口付近(12:00)	集合：矢那瀬・八幡神社(矢那瀬下郷区集会所)(9:00) ↓ 巻菱胡筆庚申塔(9:05) ↓ 大月峠(9:50) ↓ 虎ヶ岡城跡(10:20~10:50) ↓ 大月峠(11:20) ↓ 解散：矢那瀬・八幡神社(矢那瀬下郷区集会所)(12:00)	集合：樋口地区コミュニティ集会所(9:00) ↓ 寛保洪水位磨崖標(9:10) ↓ 野上下郷石塔婆(9:40) ↓ 諏訪神社(10:20) ↓ 仲山城跡(10:50~11:20) ↓ 西光寺(11:40) ↓ 解散：樋口地区コミュニティ集会所(12:00)
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・荒天を除いて実施します。 ・主に舗装道路、遊歩道を歩きます。 ・緊急事態宣言等で鉢形城歴史館が閉館の場合は鉢形城公園のみ見学します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・雨天の場合は中止します。 ・急峻な区間があります。 ・主に山道を歩きます。 ・駐車場は、八幡神社の道反対側の空き地を利用してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・雨天の場合は中止します。 ・急峻な区間があります。 ・舗装道路、山道を半々に歩きます。 ・駐車場は樋口コミセンの駐車場を利用してください。

その他 移動は歩きとなるため、動きやすい服装や靴などでご参加ください。また、雨具や水分などは各自でご用意ください。

ジャズダンス教室

音楽にあわせて楽しく踊りながら、ジャズダンスの基礎技術を習得します。
 体を動かし免疫力を高めましょう

期 日 10月11日、10月18日、10月25日、11月8日、11月15日 月曜日

時 間 午後7時30分から午後9時00分まで

場 所 会議室

講 師 野口菜美 先生

定 員 15名

参加費 500円

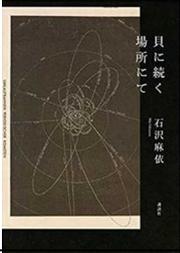
その他 運動のできる服装でご参加ください。



日	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
曜日	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
内 容				動物愛護週間 敬老の日	秋の交通安全運動		秋分の日				渋沢栄一翁の足跡と彼岸花の名所を巡る			月末休館日



新刊図書のご案内

著者名・書籍名	内容紹介
<p>澤田 瞳子 星落ちて、なお</p>  <p>父の影に翻弄され、激動の時代を生き抜いた女絵師の一代記。</p>	<p>不世出の絵師、河鍋暁斎が死んだ。残された娘のとよ(暁翠)に対し、腹違いの兄・周三郎は事あるごとに難癖をつけてくる。早くから養子に出されたことを逆恨みしているのかもしれない。</p> <p>暁斎の死によって、これまで河鍋家の中で辛うじて保たれていた均衡が崩れた。兄はもとより、弟の記六は根無し草のような性格にどっぴりつかって頼りなく、妹の菊は病弱で長く生きられそうもない。河鍋一門の行末は、とよの双肩にかかっているのだった——。【第165回直木賞受賞作】</p>
<p>佐藤 究 テスカリポカ</p>  <p>鬼才・佐藤究が放つ、クライムノベルの新究極、世界文学の新次元！</p>	<p>メキシコのカルテルに君臨した麻薬密売人のバルミロ・カサソラは、対立組織との抗争の果てにメキシコから逃走し、潜伏先のジャカルタで日本人の臓器ブローカーと出会った。二人は新たな臓器ビジネスを実現させるため日本へと向かう。川崎に生まれ育った天涯孤独の少年・土方コシモはバルミロと出会い、彼らの犯罪に巻き込まれていく——。海を越えて交錯する運命の背後に、滅亡した王国〈アステカ〉の神の影がちらつく。人間は暴力から逃れられるのか。心臓密売人の恐怖がやってくる。圧倒的な悪夢と祝祭が幕を開ける。【第165回直木賞・第34回山本周五郎賞W受賞作】</p>
<p>一穂 ミチ スモールワールズ</p>  <p>読売新聞、日経新聞、本の雑誌…各紙書評で絶賛の声続々！</p>	<p>夫婦円満を装う主婦と家庭に恵まれない少年。「秘密」を抱えて出戻ってきた姉とふたたび暮らす高校生の弟。初孫の誕生に喜び祖母と娘家族。人知れず手紙を交わし続ける男と女。向き合うことができなかった父と子。大切なことが言えないまま別れてしまった先輩と後輩。誰かの悲しみに寄り添いながら、愛おしい喜怒哀楽を描き尽くす連作集。</p> <p>【第165回直木賞候補作】</p>
<p>石沢 麻依 貝に続く場所にて</p>  <p>静謐な祈りをこめて描く鎮魂の物語。</p>	<p>ドイツのゲッティンゲンで大学院生として暮らす私の元に、震災で行方不明になった友人の野宮の幽霊が現れる。野宮の実家は津波で流され、野宮とその家族は海に飲み込まれ、その年に妹と父親は見つかり、3年後に母親の遺体も見つかったが、今でも野宮と彼の弟は行方不明のままであった。コロナ禍が影を落とす異国の街に、9年前の光景が重なり合う。人を隔てる距離と時間を言葉で埋めてゆく、現実と記憶の肖像画。</p> <p>【第165回芥川賞・第64回群像新人文学賞受賞作】</p>
<p>李 琴峰 彼岸花が咲く島</p>  <p>日本文学に新風を吹き込む若者が挑む、過去へ連なり未来を拓く希望の物語</p>	<p>美しい少女が、彼岸花が咲き乱れる海岸に流れ着いたのは、「ノロ」と呼ばれる女たちが政を司る〈島〉だった。浜に彼岸花を摘みに来ていた〈島〉の娘、遊娜(ヨナ)に助けられ、宇美(ウミ)と名付けられる。記憶を失い、行くあてのない宇美。このまま島で暮らしたいと「大ノロ」に願い出るも冷たく突き放されてしまう。しかし、遊娜とその〈オヤ〉である春嵐(セラ)の必死の説得により、〈島〉の言葉を身につけること、〈島〉の歴史を背負う＝ノロになることを条件に、宇美は〈島〉で生きていくことを許されるが……。</p> <p>【第165回芥川賞受賞作】</p>
<p>なかや みわ そらまめくんのベッド</p>  <p>子どもたちに大人気の愉快なそらまめくんが大活躍する絵本です。</p>	<p>そらまめくんの宝物は、雲のようにふわふわで、綿のようにやわらかいベッド。だからだれにも貸してあげません。ある日、そのだいじなベッドが突然無くなってしまったからさあ大変！そらまめくんは必死でベッドをさがしますが、どこにもありません。ところが、やっと見つけたベッドには、うずらがたまごを生んで温めていたので。さて、そらまめくんは……。</p>

編集後記

9月になると厳しい暑さもおさまり、朝晩の過ごしやすい涼しさの中で、なんとなくくさみさを感じることもあります。

トイレ改修工事などでご迷惑をおかけすることもあります。ぜひ、公民館にも足を運んでみてください。